



## 校内音楽会

11月27日(金)の校内音楽会(保護者参観)には、保護者の皆様に多数ご来校いただき、誠にありがとうございました。

また、新型コロナウイルス感染症対策の観点から、学年ごとの完全入れ替え制とさせていただきましたが、保護者の皆様には、ご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

校内音楽会のねらいは、① 音楽の楽しさをからだ全体で味わう、② 他学年の発表をしっかりと聴く、③ 子どもたちの豊かな心を育むとともに集団生活の楽しさや協調性を養う、の3つでした。



今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、音楽の授業は非常に進めづらい状況にありました。合唱することもできない、飛沫感染の恐れのある器楽演奏もできない、そんな中で、音楽の授業として何ができるのかを、専科指導担当の畑先生を中心に試行錯誤してまいりました。子どもたちも校内音楽会が迫るにつれて、休み時間や放課後を使って自主的に練習し始めるようになりました。演奏の質を高めようと畑先生や担任の先生方から示される課題と向き合い、楽器固有の音色やリズムに対する興味、理解も深めることができました。

コロナ禍にあるから、できない理由を探そうとするのではなく、実現させるにはどうしたらよいかという創意工夫や配慮を指導や支援に活かし、音楽科としてのつけたい力だけではなく、子どもたちの「生きる力」にもつながる音楽会であったと実感しております。

それでは、各学年の発表内容をもとに、今回の音楽会をふり返ります。

### 1年生 「おとみつけのたびに出よう！」

楽しく音みつけの旅に出かけるという設定で、まずは、身体も楽器の一部とばかりに「さんぽ」に合わせての手拍子、そして、いろいろな楽器と出会い、「さがしてみよう ならしてみよう」に合わせて、それらの音色を楽しみ、最後は、各楽器の特徴を生かしての音楽づくりとして、「きらきら星」を合奏しました。

### 2年生 四つ竹・リズム奏「楽しき農夫」「地球はみんなの大合唱」

「楽しき農夫」では、四つ竹をリズムカルに打ち鳴らし、前列と後列に分かれてかけ合いながら、畑仕事を終えて帰る陽気な農夫をイメージして表現しました。また、「地球はみんなの大合唱」では、歌に合わせてのリズム打ちや動作も入れて音楽づくりを楽しみ、班ごとに作ったリズムの発表も秀逸で、その集中力にも感心しました。

### 3年生 合奏「山のポルカ」ハンドクラップ「クラッピング・ファンタジー 第2番」

「山のポルカ」はチェコの民謡で、2拍子のリズムに乗って演奏し、みんなで踊りたくなるような陽気で楽しいリズムが、体育館に響き渡りました。「クラッピング・ファンタジー 第2番」では、手拍子と楽器を合わせて、軽快なリズムを奏でました。いろいろなリズムのかけ合いは、颯爽としていて、心地よく心も弾みました。

### 4年生 カスタネットアンサンブル「カスターニャ」合奏「スペインのカスタネット」

「カスターニャ」は、カスタネットだけで演奏する曲で、カスタネットのいろいろなたたき方に足音や動きも加えて一斉に揃え、実にかっこよく演奏しました。「スペインのカスタネット」では、主役であるカスタネットとともに色々な楽器を組み合わせ、スペインの情熱的なフラメンコの音楽がイメージできる、素晴らしい出来栄でした。

## 5年生 合奏「八木節」

運動会での「ソーラン節」に続き、音楽会では、群馬県と栃木県の両県に伝わる日本民謡に挑戦しました。和太鼓や竹なども取り入れるなど打楽器を駆使してリズムを取り、鍵盤楽器等で軽やかな主旋律を奏でながら、軽快な調子を表現しました。和のリズムに、いろいろな楽器の旋律を重ね、曲を盛り上げた5年生。その迫力ある演奏は、圧巻でした。

## 6年生 合奏「熊蜂の飛行」～蜜蜂から熊蜂へ～

日本の童謡「ぶんぶんぶん」から始まり、ロシアの作曲家リムスキー＝コルサコフの曲「熊蜂の飛行」へとつなぐ構成で、正しく「蜂」をテーマにした作品。まるで本物の熊蜂が、勇ましく飛び回っているかのような旋律の曲で、それを表現するために、とても速いテンポの演奏にチャレンジしました。6年間、音楽科で身につけた力を結集させ、みんなで一つの音楽を創造する集大成となりました。

## 教育長からのメッセージ

大東市教育委員会から保護者の皆様へ

大東市教育委員会

教育長 水野 達朗

師走となり寒さも増してまいりましたが、保護者の皆様におかれましては、新型コロナウイルス感染症対策に多大なるご理解とご協力をいただき深く感謝申し上げます。

本市においては2学期月上旬と比べ、児童生徒のPCR検査の陽性反応者が増加傾向にあり、休校措置をとらざるをえない学校もありました。そのような背景もあり、教育委員会としましては新型コロナウイルスのいわゆる「第3波」が訪れたという認識でおります。感染防止対策に十分に気を付けていても、だれもが感染者となることを前提に、保護者の皆様に引き続きお願いしたいことがあります。

- ① 児童生徒または保護者がPCR検査を受検された場合や、濃厚接触者として保健所から連絡を受けた場合は、速やかに各学校園にご連絡をさせていただく必要があります。  
1時間でもはやくご連絡いただくだけで感染拡大を防止できる可能性が高まります。尚、学校にお電話がつかない場合は、コロナウイルス感染症連絡専用メールまでお願いいたします。(k\_covid19@city.daito.lg.jp)
- ② 学校園や教育委員会に陽性反応者の情報等についてお問い合わせをいただいても、保健所から学校園または市教育委員会への情報提供は個人情報保護の観点から内容が限られております。その点を何卒ご理解いただければありがたいです。
- ③ 十分に気を付けていても誰もが感染するとも言われています。陽性反応者や濃厚接触者になった方々へのいじめや差別による人権侵害は断じて許されるものではありません。SNS等による不確かな情報の拡散等にもご配慮くださいますようお願いいたします。
- ④ 学校の休校措置期間につきましては、原則、陽性反応者が確認され、保健所による濃厚接触者の特定が完了するまでの間となっております。よって、休校期間は各校の発生状況や濃厚接触者の広がりにより異なります。ご理解のほどよろしくようお願いいたします。

大東市教育委員会としましては、子どもたちと教職員、そのご家族をしっかりと守っていきながら、学びの機会を継続・創出していく所存です。

コロナ対策で最も大切なことは、日常の生活を極力維持しつつも、感染の広がりを迅速に食い止めることです。以前にもお伝えしたように不安な気持ちはウイルス以上に広がりますが、私は同じように勇気や思いやりも広がっていくと信じています。

引き続き、保護者の皆様のご理解とお力添えをよろしくようお願いいたします。

※学校ホームページにも掲載しております。ご家庭で共有していただきますようお願いいたします。